

H23 年度科学・技術関係予算概算要求 個別施策ヒアリング
【施策番号 24178：大型放射光施設（SPring-8）（文部科学省）】

- 1 日時：平成22年9月15日（水）11：30～12：00
- 2 場所：合同庁舎4号館2階 共用第3会議室
- 3 聴取者：有識者議員 奥村議員、本庶議員、相澤議員、白石議員
外部専門家 6名（うち若手2名）
- 4 説明者：文部科学省 研究振興局基礎基盤研究課 高谷室長、藤吉企画官、
石川補佐、阿部補佐
理化学研究所 播磨研究所 石川所長、伊藤課員
高輝度光科学研究センター（JASRI）大野専務

5 施策概要

共通基盤領域の若手意見、パブコメ、議事録の取りまとめデータにつきまして大型放射光施設（SPring-8）は、世界最高性能の放射光により、微細な物質の構造や状態を解析する施設であり、「特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律」（共用法）に基づき研究者等への共用を着実に図り、様々な分野において革新的な研究成果の創出に貢献する。

6 質疑応答模様

【奥村議員】

91 億円という金額は施設に関わるものだが、外部資金（利用料収入）はいくらか。

【文部科学省】

利用料収入は年間3億円弱である。

【相澤議員】

SPring-8の成果の独自性、つまりSPring-8でしかできないことは何か。

【外部専門家】

施設としての差別化、すなわち個性を打ち出す必要があると考えられる。

【文部科学省】

ご指摘の施設の今後の方向性については、ユーザーコミュニティを含めて現在検討を行っている。

【理化学研究所】

SPring-8 は極めて高輝度な X 線光源であり、現在は分子、原子、電子レベルの微細なものを、基本的に静止した状態で見ることができるが、今後は物質の変化など素早い反応等の解析を可能とする技術開発を検討している。

【本庶議員】

高輝度光科学研究センター（JASRI）の存在意義、どのような役割を果たしているのか。また利用料収入を上げることはできないのか。

【文部科学省】

SPring-8 計画発足時は、理研と原研が共同で整備を行っており、施設の運転・維持管理を一元的に担う機関として JASRI が設立された。その後独法改革の中で原研がプロジェクトから撤退し、理研と JASRI だけの二者体制になっているという経緯がある。また現在は、共用法に基づき利用者を支援する登録施設利用促進機関にもなっている。

また、利用料収入については、社会的な大型基盤施設であるので、世界的にも原則無料の成果公開型利用が一般的になっており、成果非公開の場合は有料としている。利用料収入増に向けた取組として、有償の優先利用枠の拡大（平成 22 年 10 月から）、測定代行サービスの拡充（H 2 4 年度から）、利用料の見直し（H 2 3 年度下期から）を考えている。

【外部専門家】

予算要求額と運転時間との関係は。。運転時間を減らさないようにしてほしい。また他の放射光施設もいろいろ建設されているので、世界最先端の研究拠点として、ビームラインや測定器も含めキャッチアップを怠らず、装置の老朽化対策もしていく必要がある。

【外部専門家】

X 線自由電子レーザー（XFEL）を相補的に活用し、施設全体としてどう発展させていくのか考える必要がある。

以上